訪問看護ステーション
ハンズの毎日

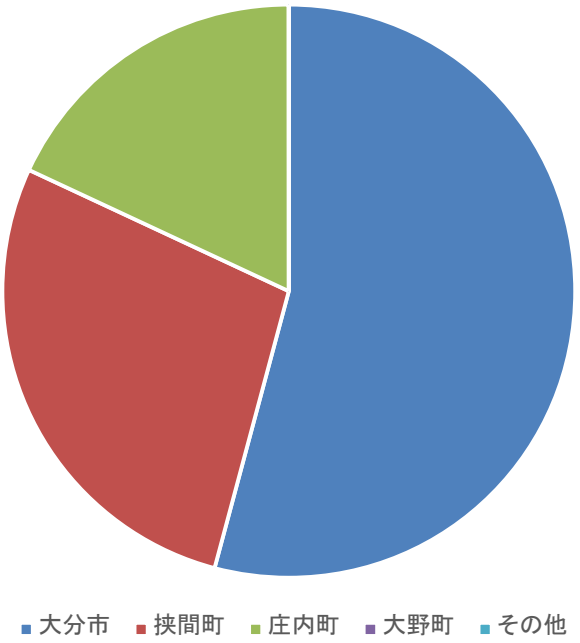
2026/11

当事業所の紹介

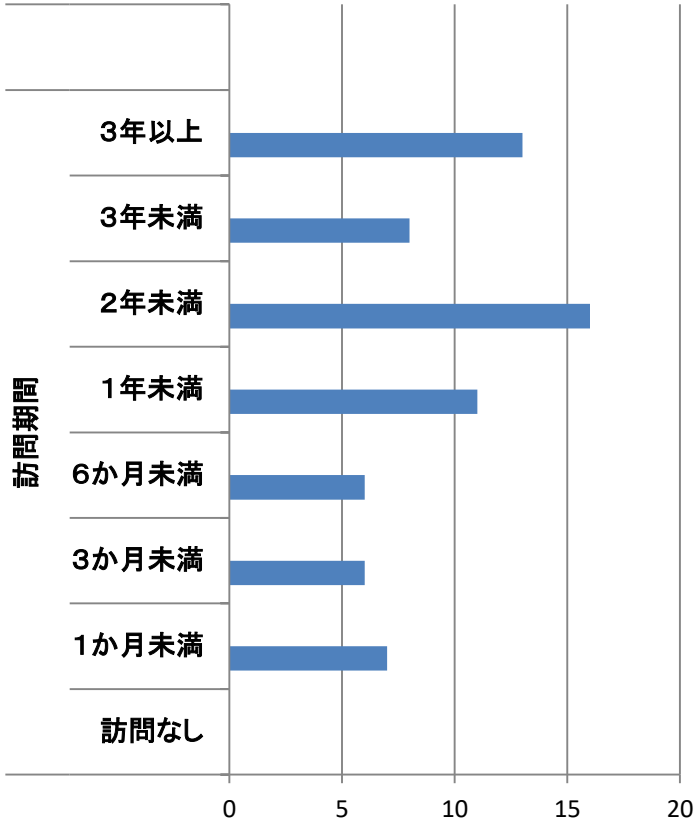
- 挾間町挾間にあります（国道210号線と医大バイパスとの三叉路付近）
- ２００７年に開設　今年で20年
- 職員数　4名（全員看護師）・募集中！「
- 利用者数　現在　40名前後
- 営利法人設立のステーション
- 「ていねいに　やさしく」がモットー

当事業所訪問看護利用者についての統計をとってみる（2025）

住所別

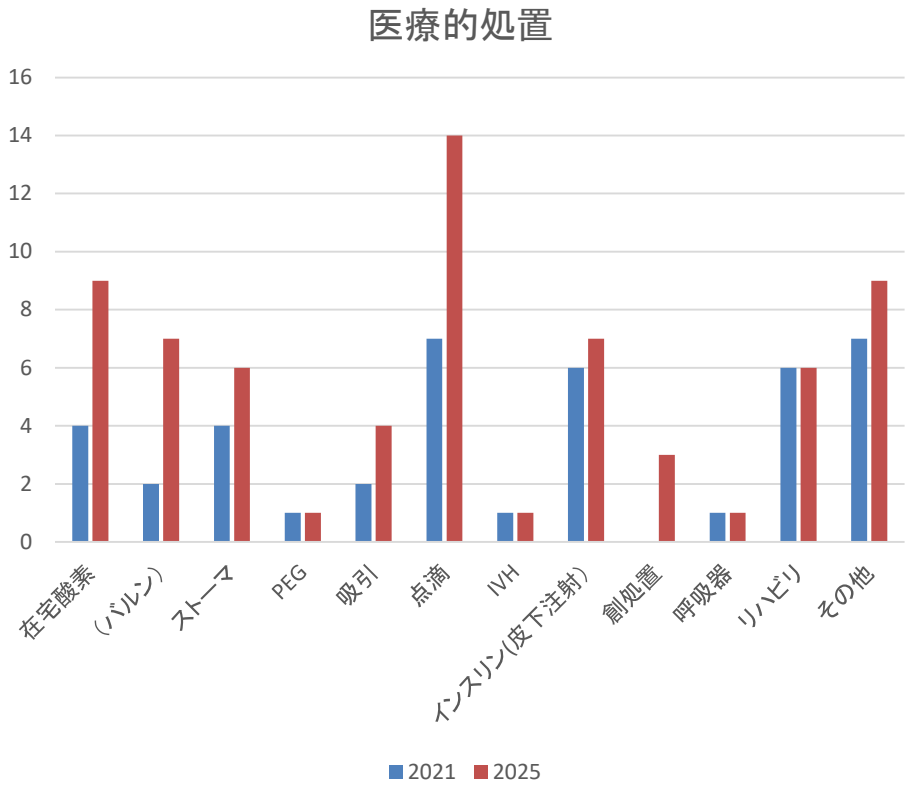


訪問期間別



当事業所訪問看護利用者についての統計をとってみる（2025）その2

実施した医療処置



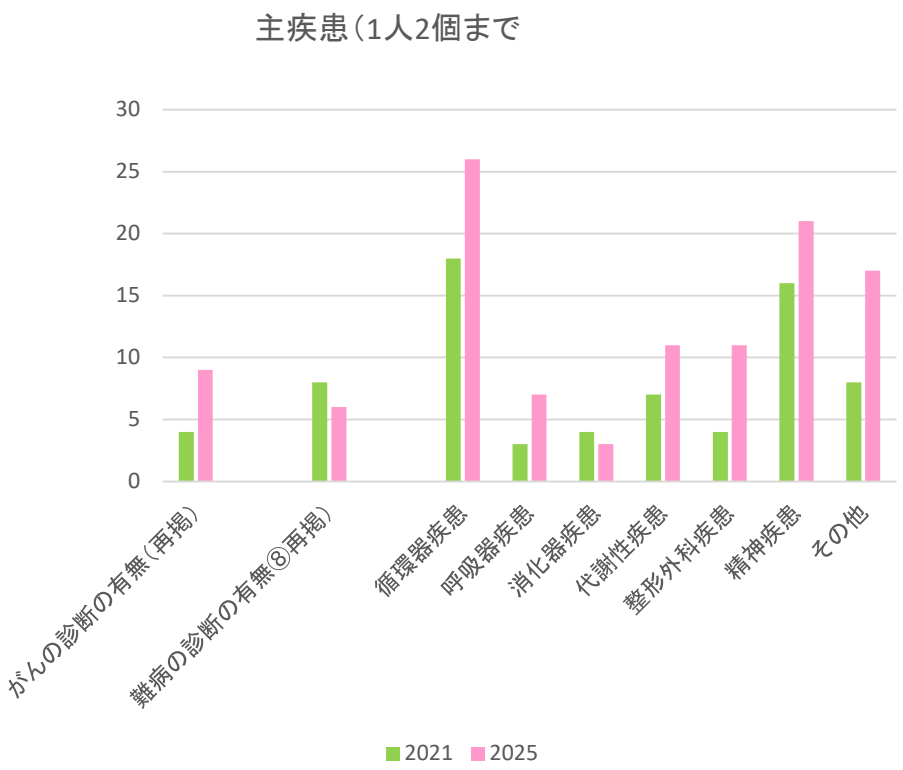
・大分市に近くそちらへの訪問が最多だが挾間町（由布市に事務所）も増加

・訪問期間は長い方は年単位もありでバラバラでした

・医療処置ではHOT，点滴等の処置が多い。ウロストーマの方も多いです。職員は看護師のみですがリハビリへの要望もなぜか多い

当事業所訪問看護利用者についての統計をとってみる（2025）その３

主疾患別　分類



対応している疾患別では、

1) 循環器疾患
2) 認知症を含む精神疾患。認知症の方がとても多い
3) 難病

これらの疾患への理解を深める為研修等を組んでいます

訪問看護が始まるとき

依頼ありましたら

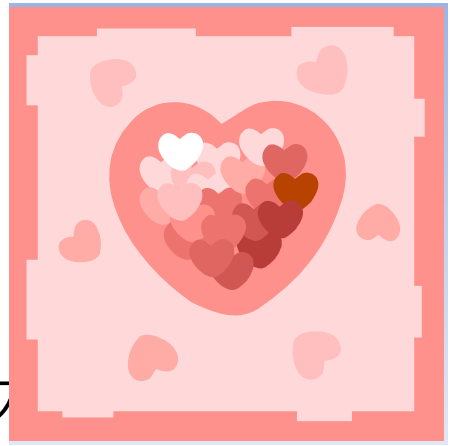
→　初回面接(本人家族とケアマネorＭＳＷ)

→　書類や手続きの処理

（指示書依頼）

→　初回訪問

→　継続・フィードバック



訪問看護は時間に縛られる□
「どこでもドア」が欲しい！

- 到着は時間厳守で
- 交通事情に泣かされ、また遠方訪問や効率の悪いルートもいかざるを得ない
- 訪問中　ﾄｲﾚの確保も重要
- ｹｱも時間設定あり、のんびりできない：次の時間の担当者が待ち構えている!

生活の場所で看護を提供するため

- ご家族へも配慮は忘れません
- スケジュールには知恵を絞ります
  (看護は後まわし？)
- 看護以外のところで評価されるところも
- 今も毎朝カンファレンスしています
  (利用者先の情報が必要なため)
  電子カルテ・LINEの活用

連携は大切で大変..

- 情報は正しく：複数の機関と情報交換あり、また個人情報保護が重要　誰から聞いた事かを確認するのを努めています。
- たくさんの会議があり：介護保険の担当者会議、退院前カンファレンス、主治医への面談、
- ひとりのご利用者にそれぞれ、主治医、ケアマネジャー、訪問介護、デイ、家族ｅｔｃ。

→連絡の電話・メール・ＦＡＸは膨大な量ですが怠らないように

訪問看護は楽しい!　なぜ?

- ひとりの相手に深く関われる喜び
  利用者・家族に全人的にかかわれると苦労も多いが楽しさも大きいです
- 「また来て」「ありがとう、見てもらってよかった」等の言葉をもらったときのストレートな喜び
- アセスメントにより対応の結果が良かった時の喜び
- 看護師の視点でマネージメントする楽しさ

今後のハンズは……

- 職員の増加により研修参加の増加、ケアの質の向上、福利厚生を向上したい
- 有休消化率の向上と残業ほぼゼロの継続目標です
- 特定行為への対応は今後の課題として未定
- できることだけではなく、求められることに対応してゆきたいです

  重症者・児　難病　認知症　精神看護

  (精神の訪問看護もしています)　施設との

  連係、医師や他職種との連携